

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆「交付税不要」は87自治体、景気回復でも微増どまり ピークの6割

・総務省は2026年度の普通交付税の配分状況をまとめた算定結果を発表。交付税の配分なしで財政運営できる不交付団体は87自治体。景気回復で税収が伸びているものの2増にとどまり、直近のピークだった07年度比で6割。普通交付税は自治体の標準的な税収で行政サービスに必要な経費を賄えない場合、不足分を補うために国税から配分する仕組み。

◆国民年金、25年度確定の最終納付率85.6% 13年連続改善

・厚生労働省は2025年度の国民年金保険料の納付状況を公表。最終納付率が確定する23年度分は前年度から1.1ポイント上がり85.6%に。28年度末までに8割台後半に伸ばす目標を前倒しで達成。最終納付率の改善は13年連続。PayPayなどのスマホ決済アプリによる納付を広げたことや、年代や在留資格に応じた促進策が寄与。

◆6月の消費者物価、1.6%上昇 5カ月連続2%割れ

・総務省が発表した6月の消費者物価指数(CPI、2020年=100)は変動の大きい生鮮食品を除く総合が113.1と、前年同月比で1.6%上昇。診療報酬改定の影響により診療代が押し上げ方向に働いた。診療代は1.7%上昇した。政府が6月に公的医療サービスの価格を定めた診療報酬を改定。物価高や賃上げに対応、初診時の料金は少なくとも190円上がった。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆塩ビ樹脂5%高、最高値更新 中東危機の追加値上げ浸透

・建設資材などの素材となる塩化ビニール樹脂の国内価格が再び上昇し、最高値を更新。中東危機による原料高を受けた国内メーカーの追加値上げが浸透した。供給不安がやや残る中、需要家は安定調達を優先し値上げを受け入れた。塩ビ管など川下製品にも価格転嫁が広がっている。

◆蛍光灯2027年問題でLED需要拡大 2030年に1兆3280億円へ

・矢野経済研究所は国内の照明市場に関する調査結果を発表。2025年の照明総市場規模(従来光源照明器具、従来光源ランプ、LED照明器具、LEDランプの合計)は前年比3.8%増の1兆910億2500万円と推計。市場拡大の主な要因として、既設照明のLED化に伴う更新需要の増加を挙げている。2027年末には蛍光灯の製造および輸出入が原則禁止となる。

◆リフォーム市場、2026年は7.7兆円へ拡大予測 資材高騰で工事単価上昇

・矢野経済研究所は住宅リフォーム市場に関する調査結果を発表。2025年の住宅リフォーム市場規模は前年比2.5%増の7兆5119億円と推計。リフォーム需要が堅調に推移するなか、建築資材費や人件費の上昇を背景に工事単価が高まり、市場規模が拡大。団塊ジュニア世代の持ち家がリフォーム適齢期を迎えていることなどを背景に底堅く推移。

《 注目商品 》

■リンナイ、Air Bubble Technology搭載FF方式・屋内壁掛型ガスふろ給湯器

・「Air Bubble Technology(エアバブルテクノロジー)」を搭載したウルトラファインバブル給湯器「RUF-UE」シリーズを拡充し、FF方式・屋内壁掛型ガスふろ給湯器を9月1日に発売。寒冷地のユーザーにもファインバブルを含んだお湯による洗浄効果や快適な入浴体験を提案。



■タカスタンダード、初の高級キッチンブランド展開

・今後拡大が見込まれる高級キッチン市場を見据え、初めての高級キッチンブランド「Artevo(アルティーヴォ)」をハイエンドな新築分譲マンション向けに展開を開始。既成概念にとらわれない自由設計を特徴とし、建築的なデザイン性や先進素材などを融合したキッチン空間を提供。



■文化シャッター、耐熱強化ガラス入り特定防火設備

・外部に面した開口部に設置可能でクリアな視界を実現した国土交通大臣認定の耐熱強化ガラス入り特定防火設備。透明な耐熱強化ガラスの採用により意匠性と視認性が向上。衝撃や熱に強い厚さ8mmタイプで、破損時もガラスの破片が粒状になる安全性に配慮した仕様。

